



宮崎大学 卒後臨床研修センター通信

Vol.5
2010年12月

発行：卒後臨床研修センター



新卒後臨床研修センター

本学附属病院の再開発に伴い、卒後臨床研修センターも今年9月にリニューアル移転しました。場所は管理棟2階（旧医学部長・病院長・事務部長室）で、窓の外には医学部正門や新外来棟が一望できる素晴らしいロケーションです。新たにシャワー室や流し台、男女更衣室を設置していただいた他、研修医用PC（現在約20台）や書籍・DVD等の研修教材も補充しました。アメニティの充実で研修医のみなさんがより研修に専念できる環境が整ったのではないかと嬉しく思います。最

近では、病院敷地内に研修医棟を持つ研修病院が増える中、各病棟や診療部門へのアクセスが不便だとの声もあるようです。その点本院の卒後センターは附属病院の中心部に位置し、外来や病棟への導線も良く、研修に好適な環境だと自負しています。卒後センターは研修医同士の意見交換や休息・自己学習の場であるとともに、各種勉強会の場としても定期的に開放しております。医学生や指導医のみなさんも、ぜひ一度お立ち寄り下さい。

研修医の声



1年次研修医 大塚 記史

研修医となり半年が過ぎました。私は宮崎大学での研修が中心で、他大学出身者であったため不安もありましたが、卒後臨床研修系のスタッフの方々のサポートや、良き同期のおかげで、安心して研修に取り組んでいます。

夕方に時間が空いているときは、各科の先生方が研修医向けに行ってくださるプライマリケアの講義に参加するようにしています。研修医向けということで、すぐに役立つことをわかりやすく解説していただけるので、大変勉強になっています。今後も日々の研修を頑張っていきたいと思います。



2年次研修医 古郷 絵美

研修医2年目の古郷です。熊本で6年間大学生活を送り、去年の4月から地元の宮崎に戻ってきて研修させてもらっています。研修先を決める時には熊本とかなり迷ったのですが、自然がいっぱいでんびり穏やかな宮崎の人柄が懐かしくマッチング申し込み30秒前に最終的に宮崎大学と決めました。迷いに迷って決めた宮崎での研修生活ですが、今のところとても充実しています。指導して下さる先生方はどの病院でもみんな優しく熱心で、患者さんたちも優しく孫のように可愛がってくれます。研修プログラムも希望を最大限聞き入れてくれて自分のペースで行えています。

宮崎では最近特に研修医減少が叫ばれていますが、一緒に宮崎のために頑張ってくれる研修医の先生が増えてくれたら嬉しいです。



協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科紹介

協力型病院 国立病院機構 都城病院

当院は、宮崎県南西部から鹿児島県北東部に至る約30万人の医療圏を担っています。地域の医療機関との連携を重視し、開放型病院として地域の先生方と共に診療体制をとっており、地域医療支援病院の指定も受けました。政策医療としては地域がん診療拠点と病院として、総合的ながんの診断、治療、研修を行っています。さらに、母子救急医療（緊急分娩・未熟児・新生児医療）に対応して県より周産期母子医療センターに認定されています。



平成20年5月に新しい病棟をオープンし、快適な療養環境とともに職場環境も向上しました。

また、リニアック棟・手術棟を更新築を予定しており、医療設備の充実を図っています。研修医向けの宿泊施設もありますので、住のご心配はありません。

協力型病院 宮崎市郡医師会病院

当院は、医師会員の紹介入院を主体にした開放型病院です。平成9年3月災害拠点病院指定、平成10年12月には全国で8番目に地域医療支援病院の承認を受け、二次救急医療機関として24時間の救急医療体制を整え近隣の救急医療に対応しています。平成13年12月に緩和ケア病棟を開設し、かかりつけ医や地域の訪問看護ステーションなどと共に連携をとりながら緩和ケアを行っています。平成20年4月には宮崎県地域周産期医療センターの認定を受け、地域の中核病院として役割を果たしています。



また、心臓病センターでは最新の医療機器を整え先端医療を行っており、2009年度の心臓カテーテル検査2486例など循環器疾患では全国でも有数の実績があります。外科・整形外科・麻酔科・循環器科・心臓血管外科等に於いて、経験豊富な指導医の下に、救急疾患を含む多種に渡る救急疾患を経験できます。

なお、宮崎市の委託事業として、夜間の初期救急医療を担う宮崎市夜間急病センターと小児救急を行う宮崎市小児診療所を受託運営しています。

協力施設 きよひで内科クリニック

当院は平成10年に開院して以来、地域に密着し

- 一、一人一人納得していただく医療
- 一、笑顔対応
- 一、何でも質問でき分かりやすい説明
- 一、最善の自己管理をすすめ、よく紹介
- 一、経過を教えて頂き長く診る医療を目指しております。

専門医療志向化の中、内科だけにかかわらず高齢化のニーズに応え、医療の広い窓口となり得る総合医の医療人を育てる事を目指しております。



協力施設 宮崎県中央保健所

保健所は、医師、保健師、獣医師、薬剤師など技術職が多く、保健衛生の向上、安心安全の確保のため、医療安全、感染症、精神保健、薬務、食品衛生、産業廃棄物、各種医療費助成事業など幅広い業務に携わっています。また健診など保健サービスが市町村へ移行した一方で、新型インフルエンザ対策など健康危機管理の拠点、地域の課題等に取り組む協議会の運営など地域の調整役を担っています。保健所実習が、これまでと少し違った視点、考え方で医療に向き合うきっかけになればと思います。



本院 宮崎大学医学部附属病院 第二内科

第二内科は消化器（消化管、肝胆膵）、血液、腫瘍を中心に診療しています。消化器内科は、"総合消化器内科"として、全消化管をはじめ、肝・胆・膵にいたるまで広範囲、多数の症例を、血液内科、腫瘍内科は、外来化学療法から移植医療まで、種々のがん種に対する薬物療法を、いずれも最新のエビデンスに基づき診療を行っています。楽しくかつ有意義な研修をモットーに医局員一同で先生方をお待ちしています。



本院 宮崎大学医学部附属病院 眼科

眼科では、1年目は指導医とペアになり大学内で主に病棟医として働きます。豚の眼を使って手術手技を練習し、1年目が終わる頃には白内障の執刀デビューを目指します。その後、関連病院に出向、大学院に進学、大学病院にて専門性の強化など、それぞれの希望に沿った研修を行います。そして、眼科入局5年目で専門医試験を受験し、専門医となります。眼は血管や神経などを直接観察できる特殊な部位であり、糖尿病や高血圧、頭蓋内疾患、膠原病などと深く関連しています。したがって、局所とはいえ全身疾患を診るという幅広い分野です。



当院眼科は、眼科外科・内科ともに偏りなく研修することができ、また専門医取得率100%と、非常にバランスの取れた研修施設だと自負しております。



歯科口腔外科



歯科口腔外科・矯正歯科では、歯科医師臨床研修医として男性4名、女性1名の計5名が研修に励んでいます。また、4月から橘通歯科口腔外科クリニックも加わり、協力型臨床研修病院が7病院となり、より充実した研修を行えるようになりました。



第2回医局合同説明会

平成22年9月11日（土）に、研修医を対象に医局合同説明会が開催され、研修医24名、各診療科等から48名、併せて72名が参加しました。それぞれの診療科の紹介時間のあと、研修医の自己紹介が行われました。今年は昨年と趣向を変え、居酒屋にて行われ、お互いにより近い距離で話す事で親睦を深めることができ、盛会のうちに終了しました。

研修医マッチング



平成23年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が、行われ、医師は10月28日、歯科医師は11月2日に結果が発表されました。

医師

自主デザイン研修プログラム・・・21名
小児科研修重点プログラム・・・2名

歯科医師

歯科臨床研修プログラム・・・8名

専門医前研修支援コース 勝見 麻里子



宮崎大学での研修を開始し早くも7ヶ月がすぎました。非常に充実した日々を送っています。私は麻酔科、小児科、第1内科を4ヶ月ずつ研修しています。研修医の時とは少し違った視点で各科をじっくりまわるということは、今後専門をもった後にはできない非常に貴重な経験であると日々感じております。この経験を来年からの専門科で役立てていけたらと考えております。このような機会を与えてくださった貴院に非常に感謝しております。

中九州三大学病院合同専門医養成プログラム

本年度、本プログラム予算にて関節鏡シミュレータを購入いたしました。肩関節および膝関節の鏡視下手術に対する教育ならびにスキル習得トレーニングが可能なシステムであり、学生・研修医教育だけでなく専門医養成にも効果を発揮するものと期待されます。

使用を希望される場合には、整形外科の中九州三大学G P 担当教員、臨床技術トレーニングセンター（内線2401）まで問い合わせください。





行事案内

12月4日(土)	平成23年度研修ローテート等説明会, 卒後臨床研修センター忘年会
12月12日(日)	中九州三大学病院合同GP「整形外科カンファレンス」(TV会議システム)
12月18日(土)~19日(日)	指導医養成のためのワークショップ(宮崎市)
12月上旬	1年次面談
1月22日(土)	5年生対象 卒後臨床研修プログラム等説明会
2月5日(土)~6日(日)	第104回 歯科医師国家試験
2月11日(金)	中九州三大学病院合同GP「呼吸器内科合同カンファレンス」(宮崎)
2月12日(土)~15日(月)	第105回 医師国家試験
3月上旬	研修管理委員会(修了判定)
3月18日(金)	医師国家試験合格発表
3月22日(火)	歯科医師国家試験合格発表
4月上旬	研修医オリエンテーション



先生紹介



上野 史朗先生

卒後臨床研修センター教育担当助教

ストレス解消法: 推理小説を読みながら昼寝すること
 卒後臨床研修センターの上野です。普段は膠原病感染症内科の医師として診療に携わっています。現在は病棟に関わる時間は限られているため、初期研修医の皆さんと関わる時間は、残念ながら？主に夜の飲み会です。ただ各診療科をローテートする初期研修医の皆さんは、患者さんのことで相談したいことがありましたら、気軽に御連絡ください。若い活気ある新人医師がいると、自然とこちらも元気になります。ぜひたくさんの経験を積み、充実した研修を送ってくださることを願っていますし、その手助けができればと思います。



近藤 恭平先生

卒後臨床研修センター教育担当助教

卒後臨床研修センターの近藤と申します。診療では主に小児循環器を担当しています。地方では専門を専攻しても他の分野に関しても幅広い知識を必要とします。研修医の先生方が現在勉強されていることはきっと将来大きな糧となることと思います。よりよい研修の場になるよう微力ながらお手伝いさせていただきます。先生方もストレスが多いことと思いますが、私のストレス解消法は現在4歳になる息子に遊んでもらうことです。よろしくお願ひします。



係長紹介



鷹取あき 旧係長

4年10ヶ月お世話になりました。沢山の出会いがあり、いろんな出来事あり、とても楽しく仕事をさせて頂きました。心から感謝しています。異動後の医事課医療安全係訴訟担当、知らなかった日本語の出会いと勉強の日々です(^_^)

花盛由美 新係長

10月1日の異動により、卒後臨床研修係を担当することになりました。初めての分野で大変戸惑っておりますが、微力ながら研修医の先生方のお力になればと思います。よろしくお願ひ致します。



問 い 合 わ せ 先

宮崎大学医学部総務課 卒後臨床研修係 内線: 2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200

TEL 0985-85-1864 FAX 0985-85-3101

E-mail: sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp